

さびしいわしを慰めてくれ！……(聞き耳を立てて) 何だ今日のあの騒ぎは、
わめき聲は？ ありやおのが意志を法律にしてゐる仲間をやつらが又ど
こかの旅人を追ッかけてゐるのだ。 あいつらはおれを敬愛してはゐるが、
無法な亂暴をさせまいとするには、中々骨が折れる。……(二方を見て) プラン
タイン、引き退つてゐろ。 だれか来た。

プローチヤスがシルギヤを救つて、ジューリヤと共に出る。

プロチ

お姫さん、これは全くあなたへの御奉公です、わる者が危く御名譽を暴力
で辱めようとなりましたのを命がけて御家來がお救ひ申しましたのを、更に
何ともおぼしめして下さらないやうですが。 御褒美に御機嫌のよいお顔
だけなりとお見せ下さい。 それ以上の御恩賜をいたゞきたいとは申しま
せん。 よもや、それ以下を下さりもしますまい。

此以前プランタインは木かげからシルギヤを認めて驚く。

プラン

(傍)まるで夢のやうだ！ が、見えもするし、聞えもする。 戀よ、しばらく
こらへさせてくれ。

シルギ

お、あさましい、不仕合せなわたしの身の上！

プロチ

いや、先刻まではお不仕合せでしたけれど、わたくしが参つてからは、仕合
せなお身におなりなのですよ。

シルギ

いゝえ、お前さんに傍へ寄られると(言ひ寄られると)此上もなく不仕合せです。
(いやアな心持です)。

ジュリ

(傍)わたしもよ、あの人があなたの傍へ寄ると。

シルギ

わたし飢えた獅子に捉まつて、其餌食になりたかつた、不義者のプローチ
ヤスなんかには救はれるよりは。 お、天よ、御照覽下さい、わたしは自分の
たましひ同様にプランタインの身をいとはしみます！ 不信不義のプロ
ーチヤスを憎いと思ふと同じ程に、それより以上といふ分量はないから。

だから、去つておしまひ。もう何にもおいひでない。
 プロチ
 どんな死に接近した危険があなたの身に迫つてゐたかをお考へなさい、若しわたしが、只一目やさしい顔が見たさに、あゝいふ冒険をせなかつたら！ おゝ、これは幾らも實例のある戀の呪ひだ、女が其戀ひ慕つてゐる者を愛し得ないといふのは！

シルギ
 さういふプローチヤスが、其戀ひ慕つてゐる女を愛し得ない場合にはよ。おまひの先の、眞實な戀人のジューリヤの心を思ひやりなさい、そのジューリヤのために、おまひは百たびも千たびも勝手な誓言をしたぢやないの？ その誓言が、わたしに戀をおしなので、みんな偽誓になつてしまつたから、もう残つてゐる眞實はない筈です、二つありや格別、さうしてそれは無いよりもズツとわるい。一つ餘計な眞實があるよりは(二心よりは)まるで無いほうが優しです。眞友に對しておまひは賈金を使ふ偽友です！



プロチ 戀に親友なんかを思つてる者がありますか？

シルギ プローチヤスの外はみんなよ。

プロチ (儼然となつて) これほど言葉を盡し、やさしく懇ろに情けを求めても、折れて下さらんけりや、武人らしく劔の切ッ先で口説きますぞ、愛の本質とは逆な方法で愛しますぞ……暴力で。

シルギ (手を振り絞つて) おゝ天よ！

プロチ さ、暴力で言ふことを聽かせて見せる。

と立ちかゝつてシルギヤを引立てようとする。

ヴラン (つづく)と進み出て) 悪黨、無禮無法な其手を放せ、道に外れた悪友人めが！

プロチ や、ヴランタインか！

ヴラン やい、月並友人め、誠實もなけりや愛もない、それが今の友人だ。此表裏者め！ 汝はおれの期待を悉く裏切つた。此目で見なけりやこれを事實だ

とは思はないだらう。今となつちや此世に只た一人の親友があるとさへ俺は言ひ得ない、汝が其反證を擧げるだらうから。もう信任が出来ない、此右の手が此胸を欺すんだもの！ プローチヤス、心外だが、以後は汝を信じないは勿論、汝のおかげで、世界全體をも疎んじるわい。私交上の創は一等深手だ。おゝ、何といふ淺ましい世の中だ、多勢ある敵の中で、親友が一等わるい敵であるとは！

怒つたり泣いたりして罵る。

プロチ (愧入つて) 恥と罪とで面目がない。ヴランタイン、ゆるして下さい。若し心から後悔したのが犯罪の償ひになるものなら、それを償ひにさし出します。わたしは眞實に苦しんでゐる、全く大罪を犯したのだから。

ヴラン ちや、濟んだ。君を改めて正しい友人だとする。改心したといふのに赦さないでは、天や地に濟まない、天や地はそれで満足だとしてゐるのに。悔

悟には神明の怒りも和らぐのだ。僕の心の公明であることを知らせるために、シルギヤに於ける愛の一切を君に譲るよ。

ジュリ (「シルギヤを譲ると聞いてびっくりして) お、情けない此身!

と言ひもあへず、そのまま悶絶する。

フロチ (驚いて) 小僧を見て下さい。

ブラン

(介抱しつつ) 小僧、どうした! こら、茶目! どうした! え、どうしたのだ? 顔を擧げる。返辭をしろ。

ジュリーヤやつと息を吹き返す。

此一段の解釋はまち／＼である。如何にブランタインが大度任侠であるにしても、(又さういふ似而非義侠の類例は莫逆の友情を讚美した當時の誇張的詩歌には現に沙翁の「ソネト」中にも、見えてゐる所ではあるが)、其最愛のシルギヤを不

信不義をたつた今改悟したばかりの友人へ譲るといふは不自然であり、非人情だといふところから、ブランタインの「シルギヤに於ける愛の一切を君に譲る」の義を「シルギヤの場合に自分が感じた限りの愛を以て君を遇する」の義に過ぎぬと解し、併しジュリーヤはそれを他の意味に取つて、仰天して氣を失ふと解すべきだとする一説がある。實演劇の慣用手段としては、有りさうなところもあるが、譯は、忠實に逐語的にして、如何やうにも解されるやうにしておいた。

ジュリ

(やうやく我れに返りて) お、あなた様、且那がシルギヤさまへ指輪をわたせと申されましたつけが、つい怠つて、まださしあげませんでした。

フロチ

その指輪はどこにある?

ジュリ

ここにあります。これです。

プロチ (ちらと見て、驚いて) や！ 見せる。……おや！ こりやジュリーにやつた指輪だ。

ジュリー お、御免なさいまし、間違へました。(と他を出して)これがあなたがシルギヤさまへお贈りの指輪です。

プロチ だが、どうして汝が此指輪を手に入れた？ これは別れる時にジュリーにやつたのだ。

ジュリー そのジュリーがわたしにそれをくれまして、さうしてジュリーがこへそれを持つて来たのです。

プロチ え！ どうしてジュリーが！

ジュリー あなたの總ての誓言の的となつてゐて、それを深く其胸に抱いてゐた其女を御覽なさい。其心の根を何度あなたが偽誓の矢でお碎きになつたか知れませんか！ お、ブローチヤス、此装を見て、恥かしいと思ひなさい、

若し戀の爲の假裝が恥ですなら、わたしがこんな見苦しい姿をしたのはあなたの故ですから！……まだしも小さい恥です女の變裝は、男の變心に比べて。

プロチ え、男の變心よりは！ あ、その通りだ。お、天よ！ 氣が變るといふことがなかつたら、人間も完全なものであらうに！ 其一つの過ちが原で、

いろいろの不埒を犯し、あらゆる罪惡を経験させる。浮氣は起るとすぐ衰へるものだ。浮氣でない心で見りや、シルギヤさんの顔のどの色でも、あのジュリーの顔の中で、尙ほ一層あざやかに見える筈だ。

ブラン さ、二人とも手を出したり。めでたく仲直りさせる幸福な役を勤めよう。親友たる二人が長い間敵同士になつてゐるのは情けないこつた。

プロチ 天よ、御保證下さい、永久に此願意を守ります。

ジュリー わたくしととも。

山賊らさんぞくが公爵こうしやくとツリーオーを引立てひったてつゝ出る。

山賊 (ブランタインに) 獲物えものです！ 獲物えものです！

ブラン ひかへろ！ ひかへろといふに！ そりやおれの舊君きうくんの公爵こうしやくさんだ。……

御前ごぜん、ようこそ。御前ごぜんを遠ざとほげられて、追放人つみほうにんとなりましたブランタイン
でございます。

公爵 ブランタインか！

ツリー あそこにシルギヤがゐる。シルギヤはおれの物だ。

と引立てひったてかける。

ブラン ツリーオー、返せ、でない、命いのちを貰ふぞ。(と姫を庇つて、抜劍しておれの憤激ふんげきの近くへ来るな。シルギヤ姫ひめを汝きさまのだぞと、もう一度いつて見ろ、エローナに汝きさまはゐないことになるぞ。さ、姫ひめはこゝにゐる。指ゆびでも觸さわへて見ろ。立ちどころに息いきの根ねを止めてくれる。

「エローナは」ミランしてあるべきだが原文げんぶんのまゝ。

ツリー (しよげて) 士爵しやくブランタイン、姫ひめは要いらんよ、おれは要いらん。自分じぶんを愛あいして
もゐない女の爲ために身みを危あやふするのは愚ぐだからね。おれの物ものだとはいはん
よ。だから君きみの物ものにするが、い。

公爵 (ツリーオーを一睨して) あんなにまでして言いひ寄りながら、こんな風ふうに軽々かるがしく
姫ひめを捨すてるとは、實じつに卑劣ひれつなやつだ汝きさまは。……さて、ブランタイン、わし
の祖先そぜん代々たいたいの名譽めいよに掛かけて、(晋文)おまひは立派りっぱな心立こころたての男をとこだ、女帝ぢよていの戀こひ
人びととしても恥はづかしくないと思おもふ。よつて、わしは、すべて過去くわこの苦情くじやうを忘わす
れ、遺恨ゐこんを悉ことごとく抹殺まつせつして、おまひを呼び戻もどす。無類むるいの功勞こうらうを言いひ立てに
新あらたに地位ちゐを求もとめるが、い。わしはそれに加くはへて斯かういふ認定にんていを與あたへる。
士爵しやくブランタイン、君きみは紳士しんしであつて、血統けつとうも正ただしい。シルギヤを妻つまと
なさい、君きみは當然たうぜん彼れを妻つまとすべき人ひとだ。

グラン

ありがたうございます。此恩賜はわたくしをして幸福ならしめました。

時に、令嬢のために、曲げておゆるしを願ひたい御恩恵がございます。

公爵

何か知らんが、君自身のために、許します。

グラン

手前が同棲してをりました是等刑餘の徒輩は、おのゝ立派な資格ある人でございます。どうか彼等の犯しました罪をお赦しあつて、追放をお取り消し下さいますやうに、改心いたし、禮法をも辨へ、十分善心を抱き、重要な任務にも適すべくなつてをります。

公爵

聞き届けた。彼等をも、おまひをも赦す。其才徳に應じて、それ〴〵處分

するがよい。……さ、さ、歸らう。一切のいざごさを祝典や餘興や稀有の儀式でめでたく收めることにしよう。

グラン

では、歸ります途々、失禮ながら、閣下をお笑はせ申すやうなお話をいたしませう。御前、此小奴をどう御覽ですり？

公爵

品性のよさうな少年だ。あゝ、赧い顔をしてをる。

グラン

いや、品性は勿論、神性(美女神性)をさへも具へてをります。

公爵

といふのは？

グラン

その仔細は、途々お話致しませうが、さて〴〵不思議な事もあつたものとお驚きになるでございませう。……おい、ブローチヤス、自分の戀愛事件が露顯に及ぶのを聴くのが君の罪ほろぼしだよ。それが済んでからが婚禮だ、君らのも僕らのも同じ日にする。祝宴も一しよ、邸も一しよ、お互ひの幸福も一しよに。

みなノ、はひ
皆々入る。

* * * * *

大正十五年十二月八日印
大正十五年十二月十一日發行

(不許複製)

士紳二のナーロゴ
錢拾五圓貳金價正

譯者

東京市牛込區余丁町百十四番地

坪内雄藏

發行者

東京市牛込區辨天町百五十七番地

種村宗八

印刷者

東京市牛込區櫻町七番地

竹内喜太郎

發行所

東京市牛込區
早稻田

早稻田大學出版部

(振替口座東京二二三番)

——(刷印社會式株)——



譯遙道内坪士博學文

全沙集翁 (第一編)

ハムレット

三色版口繪入
木版密畫多數入
定價貳圓五十錢
郵稅十二錢

此劇は沙翁の作三十七篇中の最有名なるもので、荷も文化國の片端に列してゐる國で、此作を譯しては、其趣味が口語體に、今から十八年前の苦悶の心でなされた、折衷體の譯本である。此作は、其趣味が口語體に、今から十八年前の苦悶の心でなされた、折衷體の譯本である。此作は、其趣味が口語體に、今から十八年前の苦悶の心でなされた、折衷體の譯本である。

全沙集翁 (第二編)

ロミオとジュリエット

三色版口繪入
木版密畫多數入
定價貳圓五十錢
郵稅十二錢

これは純粹の戀愛悲劇として、沙翁の作中唯一の物で、劇としては勿論、オペラとして、活劇寫眞として、絶えず繰返して演ぜられる。十四歳の處女と詩人肌の青年の不幸な情死譚で、原文はハムレットに劣らず讀みにくい。殊に比喩や口合や洒落が夥しいのを、それを雅俗折衷體で譯した點に非常の苦心と特色がある。沙翁の若い時の作だから、いかにも若々とした麗はしさが全編に溢れてゐる。口繪、挿繪の豊富はハムレットと同例である。

部版出學大田稻早 所行發

譯遙道内坪士博學文

全沙集翁 (第三編)

オセロ

三色版口繪入
木版密畫多數入
定價貳圓五十錢
郵稅十二錢

純粹の家庭悲劇たる點に特色があつて、作者死後三百年の今日讀んでも、極めて深刻な同感を生ずる。その描寫は、近代然たる趣味が、作者死後三百年の今日讀んでも、極めて深刻な同感を生ずる。その描寫は、近代然たる趣味が、作者死後三百年の今日讀んでも、極めて深刻な同感を生ずる。

全沙集翁 (第四編)

リヤ王

三色版口繪入
木版密畫多數入
定價貳圓五十錢
郵稅十二錢

所謂沙翁の四大悲劇は、此作と「ハムレット」と「オセロ」と「マクベス」とである。或評者は、此作は、其趣味が口語體に、今から十八年前の苦悶の心でなされた、折衷體の譯本である。此作は、其趣味が口語體に、今から十八年前の苦悶の心でなされた、折衷體の譯本である。

部版出學大田稻早 所行發

文藝學博士坪内逍遙譯

沙翁全集 (第五編)

ジュリアスシーザー

沙翁の作中で、政治的興味を中心としたのは此作以外に、もう一種あるきりである。これは羅馬の史實を其のまゝに取扱つた活劇なのだが、大詩人の作だけに、千九百年前が目の前に躍るやうである。大英雄シーザー、其政敵カシヤス、其義弟同様のブルータス、アントニウス、此四者の性格の對照が妙を極めてゐる。殊にシーザー死後の大演説の場は今人の血をすらも沸騰せしめる。男性的悲劇とは是れであらう。學校の教課書として最も適當だとせられてゐる。且つ最初に讀む沙翁の悲劇として適當である。

沙翁全集 (第六編)

エニスの商人

明治の十四五年頃に「人肉買入れ裁判」といふ外題で演ぜられたもの、原本で、今では男裝の淑女ホオシヤ、強慾の高利貸シャイロクの名を知らない芝居好きは日本中にならぬ位だらう。此作以下は譯者が全く純粹な口語體で譯されたから、註釋がなくては外國人にすら讀めぬ此作が丸で近頃の日本の創作のやうに讀める。沙翁の作は一も讀者を失望せしめないといはれてゐるが、本全集も大丈夫、買つてから、あゝ買はなければよかつたと後悔なさる必要はないと保證する。

三眞版口繪入
木版密畫多數入
定價貳圓五十錢
郵稅十二錢

寫眞版口繪入
木版密畫多數入
定價貳圓五十錢
郵稅十二錢

發行所 早稻田大學出版部

文藝學博士坪内逍遙譯

沙翁全集 (第七編)

テロペスト

この作は沙翁の絶筆だといはれてゐる。それに關しては卷末に譯者が多年の研究考察になつた一大論文を附録として添へてあるが、成程さうかも知れない。いかにも豊潤な、深刻な、も綽々たる餘裕のある夢幻的な高雅な喜劇である。前六種の作とは全く趣味情調を殊にしたロマンチックな喜劇で、妖精が出る、牛人半獸の怪物が活動する、神仙のやうな人物、男を生れてからまだ二人とては見てゐなかつた處女がはじめて戀を知るなど、感興盡くる所がない。

三色版口繪入
木版密畫多數入
定價貳圓五十錢
郵稅十二錢

沙翁全集 (第八編)

アンソニダダレオハトラ

沙翁の偉大なのは其作の彌、出てて彌、傑特な點にある。作意の變化して窮らない所にある。此作は其作才の爛熟期の最後の傑作で、巧みに世界的悲劇の契機を捉へて「全世界に君たるんが、熾烈なる肉戀を全うせんか」といふ大ゲレンマに達着した英雄的放蕩兒が功名の末路を活寫したもので、所謂四大悲劇以外に一新機軸を出だし、諸評家をして沙翁作中の最大驚異と推賞せしめた。殊に、妖女王の性格の描寫は眞に驚異中の驚異で、古今空絶である。其間に丸で漢楚軍談でも讀むやうな男性的、政治的な興味がある。

寫眞版口繪入
木版密畫多數入
定價貳圓五十錢
郵稅十二錢

發行所 早稻田大學出版部

文藝博士坪内逍遙譯

沙翁全集 (第九編)

眞夏の夜の夢

大沙翁の多方面な天才の空想的側面の代表作として、此上もない酔乎とした醉な作である。先づ「テムベスト」に似たものなどといへるが、若し時分の作だけに更に愉快、更に奇抜、更に微妙、更に飄逸である。五幕十幾場、其三分の二は悉く夢であり、更に愉快、更に奇抜、更にあり、調も夢幻的である。五幕十幾場、其三分の二は悉く夢であり、更に愉快、更に奇抜、更に滑稽があり、葛藤があり、自然である。理窟を全脱して跳梁して恣に弄する。人妖が錯綜する。絶對無類の脚色。

沙翁全集 (第十編)

マクベス

所謂四大悲劇のうちで、沙翁が伎倆の圓熟期の作である。ドストエフスキーの「罪と罰」の結構を更に雄大にし、さうして劇を化してやうな名篇である。或は「ハムレット」以上「オセロー」以上「マクベス」以上と稱せられる。特に本編へ来た此劇の活動寫眞ばかりでも三種以上あつた。翻譯者、案及上傑演の略誌を添へた。これは我國の沙翁研究の沿革を精査したもので、著者、俳優、上演の書名、著譯者の名、發行所の名を明かにし、其上演に就いては、其年月、外題と譯者、俳優、上演の書名、著譯者の名、發行所の名を明かにし、其上演に就いては、其年月、れであるだけに併、所謂四大悲劇中では、これが一等読み易いであらう。

三色版口繪入
木版密畫多數入
定價貳圓五十錢
郵稅十二錢

發行所 早稲田大學出版部

文藝博士坪内逍遙譯

沙翁全集 (第十一編)

以尺報尺

本篇は沙翁の作中で最も皮肉な喜劇と特稱せられるものである。沙翁にも得意時代、失意時代があつたのだが、これは其悲觀時代の一名作で、現實曝露的な所に一味ジョークやブリーラの近代劇に相通する皮肉味がある。附録として、特に難句解が添へてある。印刷、口繪、挿畫、裝釘、其他一切前例の通り。此事は一々これから断らないでもあらうが、同例だと信じて下さい。

寫眞版口繪入
木版密畫多數入
定價貳圓五十錢
郵稅十二錢

沙翁全集 (第十二編)

今宵は夜太夫

つい先年英國の劇作者、舞臺監督者のパークが最新式の上演をやつて大評判になつた沙翁の最晩年の最練熟した技巧になつた作である。今尚舞臺上で必ず成功する不思議に歌舞伎劇式の世話と時代と喜歌劇的気分との混淆した夢幻劇である。四大悲劇ぐらゐでは萬魂の沙翁は分らない。斯ういふ作を含まないうちは沙翁を語る権利がない。わが國の黙阿彌などの講釋種のお家騷動物に一寸似た筋立てであるが、其詩としての品位は比へ物にならない。

三色版口繪入
木版密畫多數入
定價貳圓五十錢
郵稅十二錢

發行所 早稲田大學出版部

文 學 博 士 坪 内 逍 遙 譯

沙 翁 全 集 (第十三編)

リチャード三世

寫眞版口繪入
不版密畫多數入
定價貳圓五十錢
郵稅十二錢

沙翁が習作時代の傑作で純粹の正史劇の標本で、わが國でいふ歴史劇に相當するが、同じやうに正史本位で書いても我國の作者と大詩人とではどんでいふ違ふ悪覺的天才だけ、同じやうに分る主人公は王族でありながら僞徳の骨子をおそるとは全く三百年前にして此主と公の道破をさせてゐる。エリザベス劇勃興當時の代表作で、既譯十二編とも全くと異に前にして此主と公の道破を

沙 翁 全 集 (第十四編)

ヘンリー四世

一 三色版口繪入
木版密畫多數入
各册貳圓五十錢
郵稅十二錢

沙翁の史劇中の傑作である。第一、第二と二部に跨つてゐる長篇で、英國の内亂を舞臺面に市井風俗の喜劇と政治的悲劇と無縫の天衣のやうに巧妙に織り交ぜてある。折つては、沙翁の易格の妙味がある。獨歩である。殊にフットルスタフの傑作といふ性質の複雑な點にして、格は、大分不自然で、彼れの不純な敵の驚異といふが、フットルスタフに至つては、その性質の複雑な點にして、格は、大分不自然で、優作といふに他ならない。

文 學 博 士 坪 内 逍 遙 譯

沙 翁 全 集 (第十六編)

お氣を召すまへ

三色版口繪入
木版密畫多數入
定價貳圓五十錢
郵稅十二錢

沙翁が幸福に暮らしてゐた得意時代の作であるので、彼れの喜劇中の最も陽氣な、最も愉快な作だと稱される。讀む者も自然と暢氣な晴々した心持になる。「牧歌的」と特稱される作である。田野山林の詩趣が横溢してゐる。或部分は品のよい喜劇とも見られる。舞臺が主として深林中なので、野外劇の脚本にもされる。清浄な、無邪氣な、可憐な、高雅な作意であるから、外國では女學校の餘興用に歓迎してゐる。既譯十五卷中のどの作とも違つてゐる。處に此作の特色がある。

沙 翁 全 集 (第十七編)

おぢい馬劇

寫眞版口繪入
木版密畫多數入
定價貳圓五十錢
郵稅十二錢

沙翁立身前後に流行つた、フリス仕立の思ひ切つて變から式な喜劇の代表作である。其れ自ら一喜劇である開幕劇へ、本筋の喜劇を編み込んだ趣向が、先づ最も珍らしい。雷聲が雷娘を難なく征服する段取に至つては更にをかしい。不思議に今も尙歡迎される喜劇である。我國では其幾場かは譚案された。本譯には例の挿繪以外に特に名優の寫眞數葉を挿入した。沙翁の喜劇中の最も分り易いものから讀みたいと望む人は、先づこれからお讀みなさい。

發 行 所 早 稻 田 大 學 出 版 部 東 京 早 稻 田 牛 田 早 稻 田

文藝學博士坪内逍遙譯

沙翁全集 (第十八編)

十一夜

寫眞版口繪入
木版密畫多數入
定價貳圓五十錢
郵稅十二錢

既刊「お氣に召すまゝ」の姉妹篇である。學生の同胞の女の方が故あつて男裝してゐるのが間違ひの種になる作意である。此間違ひを骨子とした點だけは作者の習作期の或作に似てゐるが、劇詩としての價値は無論數等優つてゐて、沙翁が作中、喜劇としては最も純粹なものと稱せられ、今尙愛讀もされ、實演もされる。既刊のどの作とも異つた味だから、之を讀むと沙翁の創作力の彌、出てて強、無盡蔵なことが分る。上品な滑稽、高雅な戯諧の上乗である。

沙翁全集 (第十九編)

コソオレハナス

寫眞版口繪入
木版密畫多數入
定價貳圓五十錢
郵稅十二錢

ニイチエの超人道徳の標本のやうな傲岸不敵の一貴族を中心にして、其周圍に渦巻くアリストクラット對プロレタリアの黨争を経緯とした作である。専ら男性趣味と政治的感興で終始し、一の挿話をも一の戀愛情味をも粧點しないで鋭く性格悲劇としての筋を一貫したのが沙翁集中の異例である。特權階級の専横、武斷政治の弊、平和と戰爭の得失、所謂多頭の怪物たる群衆の蠢動、選舉期に於ける俗政治家の戸別訪問等、ところどころ現代に對する批判や諷刺が皮肉にも豫寫されてゐるのが面白い。

發行所 早稻田大學出版部

文藝學博士坪内逍遙譯

沙翁全集 (第二十編)

シムベリン

四六判美裝
口繪及插畫多數
定價貳圓五十錢
郵稅十二錢

沙翁が最晩年の三大ロマンチック劇の隨一で「テムペスト」や「冬の夜話」の姉妹篇です。女主人公イモーゼンは作者の理想的淑女だと推想される。筋も脚色も趣味情調も不思議に我歌舞伎劇に似てゐる。本篇には譯者が過去十六年間の工夫を語る長篇の翻譯苦心談が添はつてゐる。それは世のクラシックを讀む人及び譯する人の絶好指針です。例の通り豊富な挿畫、コマタイプのお繪が三葉、エレンテリーのイモーゼン、青年期のゴルツンクレーグの王子など。

沙翁全集 (第二十一編)

戀のそと

四六判美裝
口繪及插畫多數
定價貳圓五十錢
郵稅十二錢

此作第一の特色はそれが沙翁の處女作であるに隨つて古今獨歩の世界的劇天才の發達を跡附くべき必讀書たる第二は其時代相の反映、諷刺、漫畫であるに就中不自然な街壇的辭令や嬌飾的口語の嘲弄であるから滑稽百出戯諧縱横の對話劇であるに而して主題は五才女と五才子の戀愛戰爭、脚色は詩的笑劇、譬へば三馬、一九、鯉丈、全鷺らの作意を高尚にし貴族的にし女性的情味を豊かにして劇化したやうな作、地口や語呂や當込みや駄洒落の連續、到底讀みやすいからざるもの、それを此譯者がどう取扱つたかは是れ亦譯の興味である。

發行所 早稻田大學出版部

文藝學博士坪内逍遙譯

沙翁全集 (第廿二編)

リチャード二世

沙翁の英國史劇中の白眉と詩人コールリッヂが激賞した大詩人の習作時代の名作である。殆ど正史其儘の筋を辿りながら立派にそれを劇化し、且つ短所弱點の多い主人公の王を敢て作りに飾ることをしなさいと十の凡人味を持たせて有り、而も詩趣に富んだ一悲劇に仕立上げた手際は、三百數十年前の戯曲としては偉觀である。其點で此作は沙翁の代表作、特に多く添へた口繪のうち諸名優の扮した作中の人物の寫眞、三色版をまじへて四枚は特に興味が深い。

三色版口繪入
挿畫多數入
定價貳圓五十錢
郵稅十二錢

沙翁全集 (第廿三編)

ウインゾアの陽

劇作家としての技倆が圓熟して筆に油の乗つた時分に女王の特命で二週間に頓作した高尚な曾我のや式喜劇である。沙翁が全部を散文で書いた作は此外にはない。英國當時の地方中流生活の寫生圖、十人十色の男女が縦横に錯綜して滑稽な戀の三角關係を中心に活躍する。厚顏無恥な不良老年、頑鈍な老地方判事、低能の青年、好きの二妻女、やき餅焼きの亭主、無知淺學の村學究、頑鈍な老地方判事、低能の青年、好きの二妻女、やき餅焼きの亭主、無知饒舌の慶菴婆、紳士處女無賴漢等、事件は滑稽人物は噱人、其一々の口吻語辭まで譯者は例によつて如實に活寫しようといふ力めてゐる。

三色版口繪入
挿畫多數入
定價貳圓五十錢
郵稅十二錢

發行所 早稻田大學出版部

文藝學博士坪内逍遙譯

沙翁全集 (第廿四編)

おぼろげおぼろげ

主人の若紳士も双生兒。其從僕も双生兒、それが一組づ、當歳の頃に別れ、丁年後に逢ふといふ豫備知識なしに出逢つた處から起る奇妙不思議な併し舞臺で觀る物としては取扱ひ方が巧妙なので如何にも自然な、さうも有りさうな滑稽的な誤解並に錯覺の連続を内容とした笑劇、二組の双生兒に扮せしむべき俳優さへあれば今日どこで演じて成功すべき笑劇。讀み物としても地口や語呂や戯語や警句の連發は火花を散らすやう。間ちがひ又間ちがひの滑稽は噴泉の湧き出すやう。要するに既譯諸作とは全く類を異にする一喜劇。

三色版口繪入
木版密畫多數入
定價貳圓五十錢
郵稅十二錢

沙翁全集 (第廿五編)

タイタス・アンドロニカス

沙翁の習作時代にロンドンで民衆に狂喜されてゐた「血の悲劇」の代表作。捕虜王子を生きたながら火刑にしたのが業因で凱旋將軍の女が辱められ舌を断たれ手を取つた其兄二人が冤死する其老父が欺かれて自ら手を断ち半狂亂になる。残忍な捕虜王妃の此奸計的復讐に報ゆるに被害者らは更に一層の残忍を以てした。大詰には主要な人物が大抵血みどろの死骸となる。事件も残酷、人物も残酷だが就中夜叉王妃の奴であり情夫である黒人アローンはイヤゴイ以上の人面魔、其徹底的惡黨振に比べると南北の惡漢などは只の人間である。大詩人が果してこんな毒々しい悲劇を書いたらう歟。それは専門家間未決の疑問!

寫眞版口繪入
木版密畫多數入
定價貳圓五十錢
郵稅十二錢

發行所 早稻田大學出版部

文 學 博 士 坪 内 逍 遙 著

沙 翁 全 集 (第廿六編)

アセンスのタイモン

三色版口繪入
本販定畫多數入
定價貳圓五十錢
郵稅十一錢

「ハムレット」以來段々深刻になり來つてゐた連續的大悲劇の打雷にとて特に慘絶な妙想を凝したのかと思はれる晩年の一作。寛濶豪華な生活を送つてゐた若い博愛家が一朝破産すると多年殊恩を蒙つてゐた者が悉く離咍して去る。其不義輕薄に憤激した主人公は全人間を呪ふ。憎人主義者となり荒林中に野獸的生活を送り掘出した巨額の金貨を土芥視してノタレ死をす。る「リヤ王」以上の大悲劇だのに存外世評が高く傑作視されなかつたのは何故歟。とにか
く古今に稀有の作意である。

沙 翁 全 集 (第廿七編)

エローナの二神士

三色版口繪入
本販定畫多數入
定價貳圓五十錢
郵稅十二錢

一若紳士が其親友の愛人に戀想して其情婦を捨て莫逆を裏切り不信不義を敢てするといふの
に於て隨ひに「進境」を示した。且つ勝つてゐる如く「モミガ」と「ジュレット」の舞臺技巧
が若々しい感情の三曲角を四角に關した。後「美多」の男沙翁の研究上又内外劇の比較研究上見逃しては
なからぬ特殊の味紙の作想をさせる趣向が多沙翁の研究上又内外劇の比較研究上見逃しては

坪内逍遙著

小川治平氏畫

學校用小脚本

定價貳圓
郵稅八錢

坪内博士の家庭用兒童劇は全國到る處に普及せられ、其眞價を認めらるゝに到つたが、博士は今や我社會の現狀に鑑み更に新意を凝らし、特に學校用公演用に適すべき大小七種の少年劇脚本を創作せられた。何れも博士獨特の斬新輕妙な構案に成つたもので、其多くは小歌劇の形式で綴られ、題材も其取扱ひ方も在來の所謂童話劇とは其撰を異にし、大人の讀物としても趣味深いものである。舞臺裝置、扮装等の指圖も深切を極め、挿圖も作意に副つて妙を盡してゐるから、直ぐにも公私の實演用に役に立ちます。

早稻田大學出版部

東京東區牛車水一丁目一〇〇番地

發行所 早稻田大學出版部

坪内逍遙著

家庭用兒童劇 第一集

定價貳圓貳拾錢
郵稅八錢

目次

狐と鴉
 こだま
 獅子と虎の喧嘩
 親雀と子雀
 蠅と蜘蛛
 田舎の鼠と東京の鼠
 神樂師の息子銀吉

メレー婆さんと其飼犬
 觸るると金
 鳥の裁判
 をろち退治
 龍宮
 附録
 家庭用兒童劇に就いて

坪内逍遙著

家庭用兒童劇 第二集

定價貳圓貳拾錢
郵稅八錢

目次

イソップ
 わるい友だら
 鼠の會議
 柳と芒
 日本神話
 因幡うさぎ

大國ぬし
 すくなびこな
 高まが原
 國ゆづり
 附録
 歌劇化したをろち退治

坪内逍遙著

定價貳圓貳拾錢
郵稅八錢

家庭用兒童劇

第三集

目次

二つの猫
 太陽と風穴
 忠義な鷹
 正直な樵夫
 かたはもの
 なめくちとばつた
 小さい娘になつた猫
 大きな魚煎餅
 うぬぼれた風見草
 見え坊の阿呆がらす
 いつまでもつくお話
 象と六人のめくら
 美しい歌

終

